

平成 30 年 3 月 20 日

各 位

会社名	国際石油開発帝石株式会社
代表者名	代表取締役社長 北村 俊昭 (コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先	広報・IR エグゼクティブ・ジェネラルマネージャー 細野 宗宏
電話番号	03-5572-0233

エクアドル共和国 ブロック 18 鉱区返還に伴う
補償金の受け取りに係るエクアドル政府との合意について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、当社子会社Teikoku Oil Ecuadorを通じて、2008年にエクアドル共和国東部オリエンテ地方ブロック18鉱区（以下、本鉱区）の参加権益を取得後、2010年よりエクアドル共和国政府の提案に従い本鉱区に係るコンセッション契約をサービス契約に切り替えるため同国政府と協議を行いましたが、同国政府と合意に至らず、2010年に本鉱区を返還いたしました^{※1}。

^{※1}2010年11月29日付で公表 <http://www.inpex.co.jp/news/pdf/2010/20101129-b.pdf>

その後、当社は、本鉱区の一部のパートナー（以下、パートナー）とともに、同国の法律に基づいて本鉱区返還に伴う補償金の受け取りについて、国際商事仲裁を申し立てておりましたが、この度、同国政府から318.7百万米ドル（パートナー全体分。1米ドル110円換算で約350億円、当社分約199億円）を受け取ることに付き、同国政府と合意いたしましたので、お知らせいたします。補償金は今後、2018年中に複数回に分けて入金される予定です。

本件の連結業績への影響に関して、当社は、同国政府から受領する補償金相当分に付き、入金状況を踏まえ利益計上する予定です。また、本件は直近の今期業績予想^{※2}に織り込んでおらず、本件を含む通期業績予想を精査のうえ公表する予定です。

なお、直近業績予想時にお示ししました米州天然ガス価格の見通し等を踏まえた米州上流資産の再評価についても、引き続き決算影響を精査しております。

^{※2}2018（平成30）年2月8日公表の2018（平成30）年3月期通期業績予想

以 上